

# 寝屋川民報

議会版

発行  
日本共産党  
寝屋川市議員団  
824-1181  
(内線 2399)  
FAX No. 824-7760  
Email: jcpncc@cc-net.or.jp  
No. 1936

田中 ひさ子  
国松町 10-36  
☎ 823-1714

寺本 とも子  
豊里町 38-1-105  
☎ 829-9424

中林 かずえ  
宝町 4-33  
☎ 839-2289

中谷 光夫  
高宮 155-8  
☎ 823-5947

松尾 信次  
下木田町 12-6  
☎ 821-7427

## 議会運営委員会で協議される

4月26日、議会運営委員会が開かれ、松尾・中林議員が出席しました。

案件として、1. 討論の持ち時間について  
2. 代表質問の持ち時間について  
3. 議会の市民への公開について、など協議されました。

こと。②今後の討論については、会議規則の規定による議長の議事整理権等の時間制限以外は、討論の持ち時間を設けず討論していくこと。③議長が会議規則にもとづき、時間制

限を設けることについては、改めて議会運営委員会に提示することを確認されました。代表質問の持ち時間については、今後の議会運営委員会を決めていくとされました。

# 本会議・委員会討論 持ち時間制設けず

## 5月臨時議会日程

15日(月) 本会議 午前10時より  
16日(火) 本会議 午前10時より  
17日(水) 本会議 午前10時より

## 市民に開かれた議会へ 調査研究すすめる

本会議及び委員会の討論の持ち時間については、昨年の9月定例会議から、議長が議員一人あたりの持ち時間を提案し、会派の議員数をかけることで討論の持ち時間にすることが決められ、試行されてきました。

また、議会の市民への公開について、日本共産党議員団は本会議や委員会のテレビ中継、休日・夜間議会の開催などを提案してきましたが、今後1年をかけて各会派で調査研究することになりました。

また、議会の市民へ開かれ、市民の声が反映される議会へとひきつづき努力します。

## 寝屋川・枚方・交野 地区メーデー開かれる

5月1日、第44回寝屋川・枚方・交野地区メーデーが寝屋川の初本町公園で開かれました。

集会後、「働くもの生活と権利守ろう」など訴えながらデモ行進がおこなわれました。



### 視界

5月5日はこどもの日。子どもたちが健康やかに成長するようお願いが

込められています。また、子ども達の声があるふれる町は活気のある町でもあります▼総務省が発表した今年4月1日現在の子ども数は、15歳未満で昨年より18万人少ない1,747万人、25年連続の減少です。寝屋川市では、05年10月1日現在の15歳未満の子どもの数は34,382人で前年の04年より630人減少しています。さらに99年から比べると連続して7年間、合計2,766人と減少の一途です▼若い夫婦へのインタビューでは「(事件や事故が不安)子どもを育てる自信がない」「(教育費など)経済的にむずかしい」「子育てしながら働く条件(保育所など)が十分でない」などの答えが返っていました▼寝屋川市がおこなうべきことは、小学校廃校や公立保育所廃園などではなく、乳幼児医療費助成制度拡充や少人数学級の実施で、子育ての環境を整えることではないでしょうか。

# 自立支援法の影響深刻 福祉サービス利用の断念も

4月1日より障害者自立支援法の施行にともない、障害福祉サービス利用料が1割、食費実費負担になり、利用者にとっては大幅な負担増になっていきます。

すでに、市立すばる・北斗福祉作業所では利用料等の負担増を理由に6人が退所しています。

寝屋川市内の通所授産施設に通うAさんは、グループホームもあわせて利用しています。

自立支援法が始まるまで、通所施設へかかる費用として通所バス代、旅行積立金など13,300円、月2回のガイドヘルプ利用の実費とで月23,300円負担してきまして、これらは一般的な負担額といえます。

さらに、グループホームの入居費用とあわせると障害年金1級と同額程度になります。

ところが、4月から通所施設・ガイドヘルプ利用料、給食費の実費等で10万円をこす負担になりました。

「負担が大きすぎてグループホームの利用をやめざるをえない」、

る費用として通所バス代、旅行積立金など13,300円、月2回のガイドヘルプ利用の実費とで月23,300円負担してきまして、これらは一般的な負担額といえます。

さらに、グループホームの入居費用とあわせると障害年金1級と同額程度になります。

ところが、4月から通所施設・ガイドヘルプ利用料、給食費の実費等で10万円をこす負担になりました。

「負担が大きすぎてグループホームの利用をやめざるをえない」、

「国の自立支援法の見直しが必要だ。また、市独自の軽減策を講じてほしい」との声が家族から寄せられました。

利用料は、所得に応じて負担上限が決まっていますが、京都府

・京都市では上限額の半額を補助。吹田市では、激減緩和策として負担上限を3年間、独自に引き下げするための助成をおこないます。

寝屋川でも障害者負担軽減策が早急に求められています。

## 憲法九条・教育基本法まもれ ねやがわ「憲法を守る会」が訴え

憲法記念日の五月三日、ねやがわ「憲法を守る会」は京阪寝屋川市駅前で「危ない」「憲法九条・教育基本

法」リレートーク・署名行動を行い三十名が参加しました。

六人のリレートークで「憲法が戦後最大の

危機をむかえている。九条をつぶしてアメリカと一緒に海外国にしようとして戦争する国にしようとして」。明治以降、愛国心教育で天皇のために死ぬことを教えた、この反省から生まれた教育基本法を守ることが大人の責任ではないか。米軍基地移転に三兆円の負担増、戦争につながるたぐらみを許さないために、力を合わせよう。

党議員団から中谷・寺本議員が参加しました。

た。



「連休明け国会は重要法案が目白押し、暮らしと平和を脅かす悪法にストップをかけよう」と訴えました。

### 議員日誌



### 寺本 とも子

連休の一日、京都へ出かけました。神社仏閣や緑が多く、京都は気持ちよく、京都市は気持ちよく落ち着きます。

の行事がおこなわれていて沢山の見物の人でした。

東山で墓参り、白川沿いの葉桜を見物、上賀茂神社まで足を延ばしました。

歴史や伝統のある京都の町を「平和でなかつたら来れないね」と言いながら歩きました。

はじめに行った、上賀茂神社では競馬

日頃の疲れがとれた日になりました。